

## 2017年度中堅職員ステップアップ研修（2）

領域 図書館経営

テーマ 政策・提言文書の作成

日時 2017年6月20日（第4回）13：30～16：00

会場 日本図書館協会2階研修室

講師 秋本敏（長野県短期大学）

### 1 政策・提言文書作成の意義と観点

#### • 図書館を理解してもらう

ア 住民や自治体職員には、図書館は「本を借りるところ」、図書館職員は「本の貸出手続きをする人」、図書館では「本は自分で探すもの」と考えている人が少なくなく、それ以外のサービスはあまり知られていない。そのため、住民、利用者、自治体職員からレファレンスサービス注釈3などの専門的サービスを求める要求が出されることが少ない。

イ 自治体職員には、図書館の蔵書を、小説や実用書が中心で専門書は少ないと考える人もあり、図書館の持つ力や効用はあまり理解されていない。

「これからの図書館の在り方検討協力者会議」これまでの議論から

#### • 図書館運営の指針となる

図書館運営を行う時に指針となるもの。図書館職員は常にたちかえり、日頃の業務の遂行の礎とする。

#### • 図書館運営の評価と運営の改善につなげる

目標を設定し、業務を執行した結果を点検・評価することで次の計画につなげ、図書館運営の改善の指針とする。

### ② 策定にあたってこんな観点があるといい

#### • 映画の予告編！

予告編を見て「映画を観たい」と思わせ、「映画をみてもらう」。政策・提言文書の目的も「これやりたい」「やってもらいたい」と思わせる魅力が必要。

#### • わかりやすく、優しい表現

政策・提言文書ではあるが、わかりやすく優しい表現は、読む者に内容が伝わりやすい効果がある。

例 『図書館基本構想・基本計画』

- ①ひろびろとした空間
- ②ともだちが集う空間
- ③にぎやかさと静けさが同居する空間
- ④やりたいことを実践し、発表できる空間
- ⑤さがしたいものが見つかる空間
- ⑥しわを発見できる空間
- ⑦いやしの空間

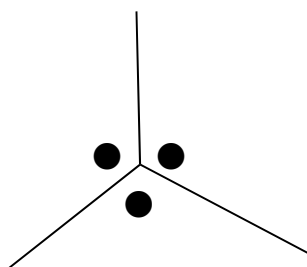
### ・常識を疑う

「年末は犯罪が増加します。被害にあわないためにも、防犯のポイントを再度点検  
しましょう。」(ある市が配信したメルマガ)

少年犯罪は増加している。なかでも凶悪犯罪は増加傾向にある。

### ・答えは一つか？

三つの角度は何度ですか？



### ・自治体の特徴をつかめ

あなたの自治体は？

### 演習タイムスケジュール

- 1 事前課題の講評 13 : 30～13 : 50
- 2 各グループ(3グループ 各4人)で、事前課題の説明・意見交換  
13 : 50～14 : 10
- 休憩
- 3 3での話し合いをもとにモデル図書館を決めて企画書の作成をする。  
14 : 20～15 : 20
- 4 発表3グループ(1人3分 他グループ(1人)質疑応答) 15 : 25～15 : 45  
企画書に基づき、上司(図書館長、教育長、首長など)を対象にしてプレゼンを実施。
- 5 まとめ 15 : 45～16 : 00

触法少年（刑法）の補導人員の推移（平成 15～24 年） 警察庁

区分	年次	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
補導人員（人）		21,539	20,191	20,519	18,787	17,904	17,568	18,029	17,727	16,616	13,945
凶悪犯		212	219	202	225	171	110	143	103	104	130
粗暴犯		1,467	1,301	1,624	1,467	1,425	1,347	1,336	1,497	1,438	1,469
窃盗犯		14,448	13,710	13,336	11,945	11,193	11,356	12,026	12,077	11,383	9,138
知能犯		39	46	57	63	55	65	68	60	68	61
風俗犯		132	116	116	117	138	137	166	175	185	202
その他の刑法犯		5,241	4,799	5,184	4,970	4,922	4,553	4,290	3,815	3,438	2,945

犯罪認知件数（平成 26 年埼玉県月刊統計資料）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
犯罪認知 件数	5514	4838	6010	6068	7044	6546	6546	6687	7146	7281	7004	6184